



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の話聞いて、原子爆弾がどんなにおそろしい核兵器であるかを知ることができました。原子爆弾は熱線、衝撃波、放射線という三つのおそろしさがあり、熱線は太陽より熱く、衝撃波は音より速く、放射線はさまざまな人を長く苦しめたことを知りました。また最終的に広島が選ばれ47もある「リトルボーイ」をのせたB29爆撃機エノラ・ゲイが落ちて19だけでこのように14万人もの人が亡くなりました。ぼくは60kgつまれていたウランニュームが19だけでこのようになっちゃったと聞いてショックを受けました。その時は何もなくても原子爆弾による強い放射線を浴びてしまったためにそれから何年後かに原爆症にかかり今も長く苦しんでいる人が多くいることが分かりました。今回の話を聞いてもう二度と核を使っちゃいけないと思います。世界で一つだけの被爆国として世界にこのことを知ってもらいたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆先生の授業を受けて一番おどろいたのは原爆「ソルボール」がパラシュートで落ちてきたのではなく、高さ9632mの高さから、4kmの速さで落したという話でした。そして、原爆が落ちていたあのパラシュートは、ラジオゾンデという機械だったのです。それに、原爆は多くの人の命をうばい、苦しめました。

僕は原爆先生の授業の最後のビデオを見た時、戦争とは絶対あってはならない、ということ、そして原爆とは悲しみを生まない、ということを、実感しました。僕は、この授業を受ける前はあまり原爆のおそろしさを知っていませんでしたが、死亡率が40%もあったという事はしりませんでした。これから、原爆についてもっと勉強していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生のお話を聞いたとき昔の人がどんな
な思っていたのか、というのが伝わってきました。

広島に投下されたのがリトルボーイという原子爆弾と
らいのがおちてきてその中での生きのびた人たちはすごい
と思った。

ほとんど人の心臓がはがれ落ちるというのを聞いて

私はそうそうがでないほどすごかったなと思っ
た。そんな事だけだったんだと知った。

やけどをしてるからすごかった。ただでいいがでいた
でしょう。はるばるかんにいたとき二つなにキレイではな
いと思った。

広島となかさきに3000°Cがきつたときあつただろう
なと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生のお話を聞いて、広島市におとされた原子爆弾の話は少し知っていたけれど、私が知っていた話よりもとてもおそろしい出来事だと思いました。広島市に落とされた、原子爆弾が太陽の表面温度よりも温度が高いという事と人間がいっしょんに黒い灰になり、衝撃波でせなごなになってしまったという事にとってもおどろきました。また、広島市をいっしょんにして、はかいた原子爆弾は、たったゴルフボール一つ分、1kgのウランニウムでそれでも多くの人々が死んでしまったという事におどろきました。けれど今の広島市は、原子爆弾をけして、忘れず、多くの人々が住み、観光する人がたくさんいる事はすごいと思います。これからは、原子爆弾が落とされた時の様な事がおこらないと良いと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ほくは、原爆先生の話を聞いて原爆投下された
当時のことをよく知りました。

広島に原爆が投下して熱線と衝撃波と放射線
で、みんなにして人が消えるように亡くなるということ
聞いてビデオで聞いたことと同じように投下した
時、人が熱線と衝撃波と放射線で本当にいっ
みんなで消えるように亡くなってびっくりしました。

広島市の人口が35万人で死者が14万人。14万人のう
ち消えるように亡くなったのは2万人と聞いて死者は40%で
約50%も死んでしまて、原爆はすこくおそろしいということ
を原爆先生の話を聞いて改めて思いました。

エノラ・ゲイという4tの原子爆弾でウラン235というのが
60kg入っていてそのうち1kg爆発したたけなのに、広島
市がホロホロになってもう二度と原爆を投下してほ
くないと思えました



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は 原爆先生のお話を聞いてしらなかったことを
たくさん 教えてもらいました。

アメリカは、リトルボーイを投下 するために 3つの
条件 があり、その条件 がすべてそろった
らリトルボーイを 投下 するのに さいてきなど
衝撃波の速さ 毎秒440m、音速は390m
ということも 教えてもらいました。

リトルボーイが爆発すると、長さ200m になり
外側の温度が7000℃ 太陽の 表面 より 熱く
中は、100万℃で スカイツリーで表すと 第27人ほど たいく
らいの高さです。

原爆雲は、上の部分が平べったく なって いて 層が
できて いて まわりの 建物は、こなこな になり
雲が どんどん 上にあがって いった など 最初 は、
広島市の人口が、35万人 だったけど 被爆者数 24万人
死者数 14万人 死亡率 40% 5人に2人のわりあいの人
がなくなりました。

こわがらぬ、こんな 悲しい ことが ない ように と思っ
て います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

ぼくは、原爆先生の特別授業をしていた
だいて、過去にすごく大変な事があった
事を学びました。そして、ぼくがお話を聞いて
た時に、目に涙がうかいました。

そして、一番心に残っているのは、
広島に投下された原爆「リトルボーイ」
です。なぜなら「リトルボーイ」は広島を
おそった、とても危ない、原爆だからです。
この「リトルボーイ」のせいで、広島市一帯が
あわててしまい、「リトルボーイ」のせいで
たくさんの死者がでてしまったのです。

そしてぼくは、もう二度とこんな事をしては
いけないと思います。なぜなら、こんな事
で、たくさんのバのちがきえる事なんてありな
いのです。そしてぼくは、原爆先生の話を
を聞いてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を通して今まで以上に平和の大切さを学びました。それは、原爆がもたらした悲惨さやかなしさをこの授業で知ったからです。爆心地の近くにいた人が「い、しゃんで死んでしまうのが」とても心に残っていて、かわいそうだ」と思います。

私は特に、原爆の温度にびっくりしました。太陽よりも熱いものが600mの高さにあることを想像しようとしても、とても考えることはできませんでした。広島の人にはとてもこわかったらうと思いました。でも、こわかったのは広島の人だけではないとこの授業で初めて知りました。アメリカの原爆を落とした人も、ふるえが止まらなくなったそうです。

私は原爆によって悲しむ人を少なくするためにも戦争は絶対にしてはいけないと思います。戦争が起きてうれしいと思う人は、たれもないと思います。何かのために戦争をしてみんなが悲しむより、地球のみんなが笑顔になってほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は先生の話聞いて、原爆の残酷さや悲しさなどをより深く感じました。

原子爆弾が爆発した時、地面の表面温度は、約7000℃にもなりました。太陽の表面温度はおおよそ6000℃。この一瞬で、その土地は太陽よりも熱くなったのです。太陽でも、人が近づけばとても危険なのにそれよりももっと熱かったのです。そんな中にいた人達のことを考えると、とてもこわくてゾッとします。

さらに、熱だけでなく、爆発の衝撃波まで人がとおされたのです。とても高温の熱で炭にされたあと、衝撃波でつぶされ、消えたように死んでしまうのです。この話を聞いた時、想像してとてもこわくなりました。

でも、そんなにこわい戦争が終わって、今は平和になって、すごくよかったです。これからも、世界では戦争や争いがなくなっていくといいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、原爆のおそろし
し、原爆被害のおそろしさを知りました。しかし、本当の
おそろしさは言葉や写真では伝わらないから、私は本当の
原爆のおそろしさは知ることができないのだと思いました。

特に衝撃的だったことは、原爆が爆発した時に
起こる被害のことです。まず、熱線を人間が受ける
と、一しゅん^で体中の水分が蒸発し炭になってしまうこと
を知り、原爆によって命という物は簡単にうばわれてしま
たのだと思いました。そして、原爆による衝撃波で、周辺
の物がすべて破かいされると聞き、ついさっきまで存在して
いた物が、次に見たときにはないという事は、今では信じ
られないと思いました。また、池田義三さんが体験した
話を聞いて、原爆で生き残ることができた人も原爆
症で苦しんだり、大切な人が亡くなったことで悲しんだり
することを知りました。そして、原爆は、誰にとってもよい
物ではなく、世界にとって不必要なものだと思っています。
私は貴重な原爆の話を聞くことができたので、おそろ
しい原爆の話を次の世代にも伝えていき、原爆のこ
とが忘れられないようにしたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生のお話を聞いて、当時の苦しさや大変さが分かりました。先生のお話は、心に深く残りました。例は、広島に投下された原爆は「リトルボーイ」だったり、広島市の死亡率が40%だったり、色々覚えています。心に残った理由は先生の話の仕方です。原爆の音を再現する時、最初に「フーッー」と言て風をイメージしているのだと思いました。そこから急に大きな声を出し、びっくりしました。それも当時と同じように再現しているのだと思います。悲しい時のお話をしている時も本当に本当に悲しむです。池田義三さんの最後のビデオで当時は、本当に本当に苦しかったのが分かります。人の肉がズリ落ち、全身やけどをしていたりしているお話を聞いて、体がゾクゾクしました。先生のお気持ちも分かりました。原爆先生のお話を聞けて良かったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講しては、くは
原爆のおそろしさを改めて知りました。

原爆がおそろしいものだというのは聞いたことあ
りました。しかし原爆先生の話を聞いて、おどろい
たのは、原爆の表面温度が7000℃で、太陽よ
りも1000℃あつく地上の温度が3000℃になる
ことです。3000℃ということを考えてとてもこわ
くなりました。また、衝撃波や放射線がのび
がいてもあると聞き、とてもこわくなりました。

またそれがた。た1kgのウランの量と考
え、60kgが爆発したら、日本が無くなる
と思います。今の世界で広島1000倍
もの力があるものが15000発もあると聞き
なぜ人をあれだけ死なせた1000倍もの力
があるものを15000発もつったのかとても不
思議で、二度と広島におちた原爆をよみ
がえらせてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅごうの特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて戦争の怖さや原子爆弾の怖さを知りました。昭和20年、広島に投下された原爆「リトルボーイ」は重さ約4t、長さ3.12mあると知りました。アメリカが出した原子爆弾投下都市の条件は3つありました。1つ目は、直径5kmを超えること。2つ目は、平野であること。3つ目は、空襲がなかったこと。アメリカが出した条件でした。そして、候補になった都市は、広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都でした。の中で選ばれたのが京都でした。ですが、京都には投下されませんでした。その理由は2つあります。1つは、木造の文化木をこわさないため。もう一つは、日本をせんりうしやまくするためでした。アメリカがもう一つ選んだ都市は広島でした。広島に原子爆弾が投下された場所は、太田川の近くにある相生橋です。近くにあった原爆ドームや家は、ボロボロになってしまいました。原爆ドームの本当の名前は、広島県産業奨励館といいます。爆弾が投下された時は、真空から真空地帯になるそうです。真空地帯の上に原爆雲ができて、できた原爆雲を見た軍人が赤色やむらさき色だったと言っていました。原子爆弾の中には、ウランというものが60kgはあって、爆発したのは1kgでした。私は、他にも色々なことを知りました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の話を聞いてたくさん学んだこと知ったことがあります。

一つ目は、原子爆弾投下都市の条件があることです。

ぼくは、どこでも落とせると思っていました。

二つ目は、京都が最初にねらわれていたということです。

でも、京都には、色々な文化財があるからやめようと言った、アメリカもとてもすごいと思いました。ぼくは、京都に都が今まであったので、日本人の感情がとてもわかると思うので京都をねらうと思います。

三つ目は、エノケムという名前が、アメリカ軍の大佐のお母さんの名前だったということです。

四つ目は、原子爆弾はパラシュートで落ちてきていたということです。

パラシュートで落ちてきたのは、ラジオゾンデということも初めて知りました。

五つ目は、原子爆弾の中心温度は100万度もあるということです。

爆発したらたくさんの人の命を落とす温度に上がるものを落とすアメリカも大変だと思います。またたくさん知ったことはあるけれどこらへんで終わりにしておきます。

原爆先生の授業を受けて、色々なことを知り、学びました。

今回の授業で学んだことは、一生役に立つと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受けて、原爆のおそろしさが分かりました。最初のビデオを見た時にある人が「すわ、こいた所からからしゅんで、いなくなたのがびっくりでした。そして、アメリカの人たちが「この原爆を54秒で日本におちると言うのを聞いてショックを受けました。もう一つびっくりしたのは、ゴルフボールくらいの物が広島におちて、広島全体をぼろぼろにしたため、もしその60kgがおちて来たらどうなっていたんだ」と思っていました。広島県産業奨励館が原爆ドームと言われるようになったのは、この時だったのだと原爆先生は言いました。なかつたら、原爆ドームではなく、広島県産業奨励館と言った名前が使われていたと思われました。私はこの話を聞いてから、平和を大切にしようと思えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して、原爆は本当にこわ
いとわかりました。投下されたときの原爆の表面温度が、
7000℃と知ってびっくりしました。この7000℃は太陽の表面温度、
6000℃より高いです。太陽が落ちてくるとほとんど同じです。
動画を見ている、その7000℃により、あっしゅんと消えて、
かげりになってしまったということがびっくりしました。
そして、皮膚がとけている人がたくさんいて、ほとんどの方が、
体がボロボロになっていて、兵隊さんが腕をつかんで引き上げ
たら、肉がらぎれて引き上げられなからたりしたというので、
原爆は本当にこわいと思いました。
広島に投下された原爆「リトルボーイ」は重さがなんと、
約4700kgもあるというのにもびっくりしました。
ほとんど絶対に原爆を落としたり戦争をしたりしないであら
いのです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別授業で戦争はすごくおそろしいことだと改めて感じました。その中でも原爆は600m上空から、200mはさくれ上がりその中心部分は100万℃表面でも7000℃、太陽の表面が6000℃でとても熱いから原爆は本当はおそろしいと思いました。原爆は熱線だけでなく、衝撃波や放射線もあり、衝撃波の速さは毎秒440mで音速でも毎秒340mだからぼんやりとおそろしいです。広島は人口が35万人のうち被爆者数は24万人死者数が14万人で死亡率が40%と、すごい多い死者がいます。原爆の中には、放射線は1に1しか使っていないから全部使っていたらこれよりもっとおそろしいことがあったと考えるとゾッとするほどこわいです。

ぼくはこの学習がすごく自分のためになったと思います。この学習をいろいろなことに生かしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

僕は池田先生の話を聞き改めて原爆のおそろ
しさを学びました。そして原爆はアメリカの手により
島病院の上空600mで爆発しました。
その原爆の名を「リトルボーイ」と言いますが「リトルボーイ」
の表面温度が7000℃だと知ったとき、ものすごいヒックリ
しました。なぜなら太陽の表面温度が6000℃に比べ、
リトルボーイの方が1000度も温度が高いからです。
それが広島県の上空600mに落とされたなんてありえな
いと思いました。「リトルボーイ」にヒックリしたことはマイ
クにあります。それは衝撃波です。熱い熱線が
広島県をおそったのに、次は衝撃波が広島をおそいま
した。この衝撃波は建物をほうかいさせていきました。
衝撃波の速さは音速の340m/sも速い440m/sの
です。そんなに速いものが来たら建物がほうかいしてはおか
しくないと思いました。僕は疑問に思ったことがあります。
なぜ地球から核がなくならないのか？という点です。
僕が思うのは地球から核がなくなり、平和な地球
にしたいと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を受講して、戦争は
この世界にあつてはならないものだと思ひました。
なぜかという、戦争では、多くの犠牲者がでたり、
町がなくなつたり、苦しむ人もいて、これ以上の悲惨な
ことはないと思つたからです。原爆投下の映像を
見てぼくは、原爆の強さを思ひ知りされました。想
像してつたのよりもはるかに強く、その悲惨な光景が
強く心に残つてつります。池田真徳さんの父、池田
義三さんの兵隊の仕事の話をして、兵隊も人が
たおれてつる悲惨な光景を見て9日間過ごしてつ
つると、ぼくには絶対にたえられませぬ。死体の焼
却作業など色々な仕事をしてつくれた兵隊さんには、
本当に尊敬します。最後に聞いた池田義三さんの話
の中でつた、原爆資料館の戦争中の人の模型が
「きれいすぎる」とつたことにびっくりしました。写真で見た
物もつる悲惨な物だつたからです。



じゅごう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の言葉を聞いてとても感動して原爆先生の言葉をあらためて読みました。原爆先生の表面の温度が7000℃もあると聞いていませんでした。7000℃の少年の喜んできた世界に原爆先生の温度が1万5000℃あったらあんなに熱い地球がほろろしてしまったり、地球が燃え尽きます。リトルボーイの温度が3000℃あったらくっつきもとけるでしょう。でもその前に消えていくでしょう。最後バッチに落ちてた人が、みんなが「かけ」た「け」の「こ」して「散」た「り」か「う」し「と」て「い」た。友達が「かけ」の温度と地面の温度が「ら」か「ら」か「け」た「り」の「つ」ま「い」つ「り」ま「し」た。でもリトルボーイに「ん」て「い」た「ら」な「ら」が「全部」と「う」か「か」した「ら」ほん「と」に「お」こ「り」か「た」て「し」た「ら」ね。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

Handwritten Japanese text in a lined notebook format, starting with '原爆先生の特別授業を受講して' and continuing with several lines of cursive writing.